

11月14日

## 第5回プラン見直し(第7回協議会)議事録

### 検討事項について

**事務局** 開催にあたり、委員Aから挨拶をいただきます。

**委員A** これから第5回推進プラン見直し(第7回御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会)を始めます。よろしくお願いいたします。

**事務局** 会長から挨拶をいただきます。

**会長** 今回、推進プランの見直しに際し、数多くの会議になってしまい、申し訳なく思っています。この推進プランは、皆さん自身が、協働を行いやすくするためのマニュアルとするために、最後の検討をよろしくお願いいたします。

**事務局** 協議事項の進行については、会長にお願いします。実際の検討に際しての進行をファシリにお願いします。

**会長** 協議事項の推進プランのとりまとめをします。進行は、ファシリにお願いします。

**ファシリ** 本日も、よろしくお願いいたします。前回の会議で出された意見をもとに、事務局に推進プランを修正していただきました。修正箇所についての説明をお願いします。

**事務局** 推進プラン最終案の4ページをご覧ください。「はじめに」の1行目に書かれている「市民」を「御殿場市を構成する様々な主体」と置き換えています。また、用語説明が追加されています。8ページ目をご覧ください。ここでは、グラフを追加しています。さらに、市民満足度調査の概要も書かれています。同じように、「市民」を「御殿場市を構成する様々な主体」と置き換えています。全体について、事務局から再提案させていただきます。その一例として、「本市の現状と課題」の資料をA4で配布しました。16ページでは、公民協働の必要なわけの①と②の順番を入れ替えたほうが、わかりやすいという意見があり、そのように修正しています。18ページでは、「●協働とは、「市民の労力を安く使うこと」ではない」を「●協働とは市民の専門性を活かし、より良いサービスを提供すること」と修正しています。「市民協働型まちづくり」推進のための施策体系の市民協働型まちづくり協議会をご覧ください。最初の方針を「御殿場市における協働推進のエンジンです。公募市民、行政職員で構成し、協働の進め方を検討し、評価し、推進する役割を担っています。また、いろいろな主体が交流する場(いわゆるプラットホーム\*)、情報や意見交換して協働のあり方を見直していく場です。」と修正しています。「プラットホーム」という言葉は、前回の会議で削除することになりましたが、会議終了後に、委員の方から削除するのではなく、説明をつけて記載してほしいという意見が出されました。よって、改めて記載するとともに、用語説明をつけています。28ページの「活動の促進・人材育成」では、方針を「協働の担い手としての市民や市民団体の活動促進に取り組んでいきます。協働について、市民も理解を深めていく必要があるため、様々な啓発活動を拡充します。」と修正しました。30ページをご覧ください。こ

ここでは、「協働型の行政運営に適した市役所の組織体制づくり」の方針を「市民協働について、部局間の取り組みに偏りがあること等を踏まえ、全庁的に市民協働型まちづくりができるよう、市役所の推進体制づくりを進めます。」に修正しています。32ページは、体系図にしてまとめています。34ページでは、「検証」という言葉を「評価」という言葉に置き換えています。最後のページには、用語説明が書かれています。事務局から提案したいことがあります。「はじめに」の最後に用語説明が書かれています。「はじめに」は、市からのあいさつを書かせていただくので、ここの用語説明を本文の方に移動させていただきます。従来のグラフは、見やすいように直しています。アンケート結果のまとめとして、協働の目的を共有し、事業を実施していかなければならないという内容を付け加えています。「計画の位置づけ」の「計画」を「計画(プラン)」としています。用語説明については、最後にまとめるのではなく、単語がでていくページの下に書くことにしました。

**ファシリ** 事務局と相談し、若干整理させていただきました。最初から順番に見ていきます。「はじめに」は御殿場市の挨拶のような文章になるので、同じページに用語説明を書くのではなく、脚注として記載することになりました。修正した箇所の補足説明をさせていただきます。10ページの表は、細かいデータが記載されていますが、本文で触れていないので、表ではなく分かりやすいグラフにしています。デザインについては、様々な意見があると思いますが、そこは後に整理していきます。ここまでの時点で、何か意見はありますか。

**事務局** 追加説明をさせていただきます。前回の会議で「市民」を「御殿場市を構成する様々な主体」に修正することにしました。しかし、実際に修正してみたところ、読みにくいという感じがあり、「市民」に再び戻しました。そして、指針の市民の定義を加えています。

**委員 A** 表からグラフにすることで、市役所職員のアンケート結果が分かりやすくなり良かったと思います。追加で配布された資料の8ページ、10ページのグラフの下に、「公益的課題に取り組む事業が少ない」と書いています。これは、25件を指しているのでしょうか。それとも、応募のあった事業総数を指しているのでしょうか。25件は、この協議会で審議し、採択した事業です。これは、本来的に公益的課題に取り組むために採択された事業です。そのような意味からすると、「公益的課題に取り組む事業が少ない」という表現は芳しくないように感じます。

**ファシリ** 「公益的課題に継続的に取り組む」のような表現にしてはいかがでしょうか。補助金の審査会でも1回のみイベント型の事業が多いという意見がありました。継続的に取り組んでいただくためには、文章の修正が必要かと思います。

**委員 A** そのような言葉を入れられれば良いと思います。

**会長** 「継続的に」を入れた方が良いと思います。

**ファシリ** 「継続的に公益的課題に取り組む事業が少ない傾向があり…」と修正すること

でよろしいでしょうか。では、そのように修正することで合意とします。他に意見はありますか。

**会長** 4 ページの「はじめに」を全面的に見直した方が良いと思います。「現行の」という言葉は修正すべきです。現在、審議している推進プラン自体が現行のものです。内容を見ると、以前の推進プランについて書かれているものなので、「現行の」を用いると、誤解が生じます。また、「御殿場市を構成する様々な主体」という言葉が分かりにくいです。使うのであれば、「市民」や「市民活動団体」などの言葉を使い、「御殿場市を構成する市民や市民活動団体などの様々な主体」とした方が分かりやすいです。さらに、「年次計画」という言葉は適当でしょうか。「年次」は1年を指しているので、「計画」が適当だと思います。さらに、3 段落目に「策定が実施項目として挙げられております。」と書かれています。このような表現にすると、挙げられているから、この推進プランを見直したように読めます。最後に、「現行推進プランの「性格」を基本的に継承しながら」という表現ですが、「性格」が分かりにくいと思います。具体的にあげるべきです。

**事務局** これから、「はじめに」を何回か見直していきます。ご指摘された点を含めて検討していきます。

**会長** 本日配布された資料の8 ページに図があります。そのタイトルが「「市民協働」の意味について」と書かれています。これは、意味についてのアンケートではなく、職員の意識についてのアンケートだと思います。そのように修正すべきです。

**事務局** 「5年間の年次計画」は、年次計画とは1年ごとの計画であるので、このままでもいいと思います。

**会長** 分かりました。

**ファシリ** 分かりやすく、「5年間の計画」にしてはいかがでしょうか。

**事務局** ここは、1年ごとの計画が積み重なって「5年間の年次計画」となっています。

**会長** その次の段落の「策定が実施項目のとして挙げられております。」という表現ですが、挙げられているので、策定していると読めます。

**事務局** 御殿場市では、体系構築を目指しており、その中で策定が実施項目として挙げられているという内容なので、そこまで不自然だとは思いません。

**ファシリ** 内容に疑問があるということではなく、前向きに「御殿場市が推進プラン策定を掲げている」などの表現にするという提案です。

**事務局** 消極的な表現に読めるということですね。そのような修正であれば、問題ないと思います。

**ファシリ** 先ほど、「性格」が具体的に何を指しているのか分からないというご指摘がありました。ここは「性格」を書かなくても、意味は通じます。また、グラフのタイトルですか、「「市民協働」の職員意識」に修正するということよろしいでしょうか。他に意見はありますか。無いようなので、ここまでの修正案については、合意とします。

12 ページをご覧ください。これ以降のページを見ていきます。まずは、事務局から、「市民と行政」という言葉について説明をお願いします。

**事務局** 前回の会議の結果を受けて、「市民と行政」という言葉を「御殿場市を構成する様々な主体と行政」に置き換えています。実際に置き換えてみると、しっくりとこないという印象を受けます。よって、最初に「市民」の定義を入れて、「市民と行政」にしたほうが分かりやすいと思います。

**ファシリ** 前回の会議の結果を受けて、分かりやすいように、「御殿場市を構成する様々な主体と行政」にしました。しかし、かえって分かりにくいという感想がありました。そこで、「市民と行政」に戻して、「市民」の定義を付け加えるという提案です。修正点がありませんので、12 ページから 30 ページまでについてご意見はありますか。

**委員 B** 推進指針の 16 ページに「この指針でいう「市民」とは、御殿場市の在住者だけでなく、在学、在勤など御殿場市において活動するあらゆる人々を含む。また、団体や企業・法人も市民の中にも含むものとします。」と明記されています。これをプラン野中で活かしてもらうのであれば、整合性もたもたれると思います。

**委員 A** 「市民」と「御殿場市を構成する様々な主体」がどのように違うのか分かりません。そのように修正するのであれば、分かりやすくなると思います。

**ファシリ** 指針に書いている「市民」の定義を読みやすく、わかるように書いて整理することになります。作業が間に合っていないのですが、14 ページの図を見ると、公民協働の図は分かりやすいです。しかし、民協協働の図は、様々な主体間の協働を表していますが、市民協働型まちづくりには入りません。民協協働を行政が支援・促進している図であれば、市民協働型まちづくりの説明になります。そのような図に修正するべきではないかという話を事務局としました。そのような点も合わせて検討していただければと思います。

**会長** そのように修正することでもいいと思います。14 ページの上に「NPO 法人が企業と連携して、森づくりをしたり、市民の自然体験活動に開放するにあたり、周辺自治組織や市民団体が一緒になって支援するという取り組みも行われています。」と書かれています。森づくりをして、その森を開放するという文章になっていません。

**ファシリ** 森づくりをして、その森に対して周辺自治組織や市民団体と一緒に支援するということですね。

**事務局** 実際に行っていることなので、「NPO 法人が企業と連携して森づくりをしたり、その森を市民の自然体験活動に開放するにあたり、周辺自治組織や市民団体が一緒になって支援するという取り組みも行われています。」と修正しても良いと思います。

**ファシリ** 文言整理をするということによろしいですね。

**委員 C** 切ったもので、つくったものを販売しています。そのお金がどこにいつているのか分かりません。

**事務局** 間伐材を主に使って作成しているようです。自分たちの活動の資金として、加工

したものを販売し、運営資金にあてているようです。NPO 法人の運営の仕方としては、いいのではないのでしょうか。

**委員 C** 市の財産で、個人の土地を森づくりするのは良いのでしょうか。

**事務局** 個人の森でも、国や県、市から間伐などに対して、助成金はあります。

**会長** この推進プランを見直す話には関係ないと思います。

**委員 C** 関係ないことではないと思います。

**会長** 今は民協協働で行ったことでも、地区の人たちが利用しているという例を事務局が提示し、その文言について修正が必要であるという話をしています。NPO の経営については、関係ない話になります。

**ファシリ** 他に意見はありますか。修正点が多かったのが、27 ページです。活動の促進・人材育成については、みなさんの意見を踏まえ、相互の啓発・育成が必要であるという内容になっています。

**事務局** 28 ページの市民活動支援機能の強化をご覧ください。項目名が「市民活動支援センター機能の拡充」となっていますが、これを「市民活動支援センター機能の充実」という言葉に修正するという提案です。総合計画では、「充実」と書かれているので、合わせて、「充実」に修正するということです。

**ファシリ** 総合計画との文言調整が必要ということですね。さらに、「機能の拡充」は、やることを増やすというイメージがあります。そこまでは、合意されていないので、「充実」と修正するということです。

**委員 B** 現在、方針では、「御殿場市民交流センター」が括弧書きされていますが、「御殿場市民活動支援センター」を括弧書きするほうが適当ではないのでしょうか。

**ファシリ** そうですね。そのように修正するほうがタイトルと合っています。中項目も「御殿場市民活動支援センター機能の充実」するべきです。他に意見はありますか。30 ページの方針に「様々なネットワーク(企業等)の構築に努める」と書かれています。しかし、いくつか名詞があって「等」をつけるのが適当ではないかという話をしました。そこで「(企業・NPO・自治会等)」などのように修正するなどの意見交換をしました。

**会長** 3つ例を挙げられましたが、「様々な」と書いているので、括弧を削除して、最初に持ってきてもいいと思います。

**事務局** 企業の CSR 活動や市民参加について最初は情報収集だけかもしれませんが、行っていきたいと思います。とりあえず、「NPO・企業等」と修正したいと思います。

**委員 B** 「NPO 法人」ではなく「NPO」ですか。

**ファシリ** 法人だけだと狭くなります。

**委員 B** 県では、NPO と NPO 法人を分けています。御殿場市の市民活動団体の方で、自分たちは NPO ではないと主張する方もいらっしゃいます。NPO は市民活動団体であるなどの用語説明が必要だと思います。県では、NPO は法人格をもたない市民活動団体を指しているようです。

**事務局** 県では、NPOにNPO法人が含まれるという理解ではないのでしょうか。

**ファシリ** NPOは広い意味であり、法人格があるかないかに関わりません。

**委員B** その理解によっては、市民活動団体の方が自分たちのことをNPOと理解していない場合も生じます。これから、文言の整理をする必要があると思います。

**ファシリ** 法人ではない企業はあり得るのでしょうか。印象を考えると、「様々なネットワーク」であれば、例示としては「NPOと企業等」でいいと思います。

**会長** このプランでは、NPOではなく、すべて「市民団体」にしています。

**ファシリ** 「NPO法人」と書くときには、「等」が付いている場合もあります。あまり、厳密にせず、「市民活動団体と企業等」ではいかがでしょうか。では、そのように修正することで合意とします。

**委員D** 既に企業とのネットワークはできていると思います。

**ファシリ** 文言は後で整理しますが、企業と市民活動団体の間のネットワークなどを拡充するという意味です。他に意見はありますか。無いようなので、32ページ、34ページをご覧ください。32ページは、先ほどの「拡充」が「充実」に修正されます。34ページについて修正案の説明をお願いします。

**事務局** 25年度に市民協働型まちづくり事業の評価と選考・実施方法の見直しがあります。25年度に入れておくと、新しい委員の方が、実績がない中で、評価することになります。そこで、一年繰り上げて、24年度に書いて、26年度の新・市民協働型まちづくり事業の実施を25年度に繰り上げます。そのように訂正させていただいてよろしいでしょうか。

**ファシリ** これから、様々なことを計画に沿って行っていくわけですが、市民協働型まちづくり事業の評価を誰が行うかについてです。新しく委員になる方が、最初に行うのは難しい面もあるということから、みなさんに評価と選考を行っていただくために、1年繰り上げるという提案でした。そして、新・市民協働型まちづくり事業の実施が25年度になります。他に意見はありますか。

**事務局** 最終の36ページですが、単語が出てきたところで脚注に書くので、用語説明を最後にまとめるということはありません。

**ファシリ** 基本的には、常識的な文章にまとめることにはなりますが、何か説明を付け加えてほしいなどの意見はありますか。

**委員B** 12ページの「協働のまちづくりが求められるわけ」の4行目「効果的に活用してかなければならない」と書かれていますが、ここは、「効果的に活用していかねばならない」と修正すべきです。

**ファシリ** 全体を通じて、何か意見はありますか。

**委員E** 14ページの図の話ですが、市民協働を修正するということでしたか。

**ファシリ** 御殿場型の市民協働まちづくりとは、市民と行政の協働のことを言っています。その場合、市民協働を行政が支援・活動促進する場合も公民協働のひとつとして考え

られます。

**委員 E** 御殿場市にはいろいろな協働が展開されているという意味から、民民協働があるという説明が、この図になります。16 ページにある、「民民協働は民間同士の関係ですから…」という部分を図で表現しています。民民協働のところに行政を足す必要があるのでしょうか。

**ファシリ** この図は、公民協働を説明しています。この図が、様々な協働があるということを表していること自体が分かりにくいという意見がありました。流れからすると、公民協働の説明をしているので、そのような図にするべきであるというご指摘もありました。民民協働についても必要があれば、説明をする図を入れるか、民民協働という言葉を残して他に図をつくるかです。

**委員 E** このままでも良いと思います。16 ページにある、「民民協働は民間同士の関係ですから…」という部分を図で表現しているので、このままでも良いと思います。

**ファシリ** 御殿場の公民協働を説明するために書かれている図です。しかし、下の図は民民協働についての説明になっています。

**委員 B** これは、いろいろな協働のかたちというタイトルにすると混乱を避けられると思います。

**ファシリ** 前回の議論では、民民協働に対して行政が支援することも公民協働と言うことが図で表されていないというご指摘もありました。

**委員 B** 公民協働の話をしたいのにな、民民協働の話が必要になってきたために、このような図になりました。

**ファシリ** 御殿場の市民協働型まちづくりとは上の図の公民協働だけであり、民民協働は入らないという理解でよろしいですね。そのことが、今の図では伝わりにくいので、先ほどのような提案になりました。

**委員 A** 市民協働型まちづくりの体系が2つあるという図にするということですね。

**事務局** 16 ページの「公民協働」が必要なわけに、民民協働に行政がかかわることで、より効果があがるということを書いています。

**ファシリ** タイトルも「御殿場市における市民協働型まちづくり」になって、2つの図が書かれることになります。他に意見はありますか。無ければ、最終的には事務局と会長に一任するというのでよろしいでしょうか。ありがとうございます。推進プランについては、本日の意見を反映して、成案にしていきます。成案にする際には、みなさんに送付されるのでしょうか。

**事務局** 庁内調整があるので、一任していただいて、その後報告することになります。

**会長** ありがとうございます。今後の予定を事務局から説明していただきます。

**事務局** 今後の予定は、庁内調整をしまして、来年の1月に協議会を開くことになります。以上です。

**会長** 進行を事務局に戻します。

**事務局** ありがとうございました。最後に副会長から挨拶をいただきます。

**委員 A** 長時間にわたり、お疲れ様です。取りまとめよろしく申し上げます。以上で本日の協議会を終わります。